

Q

どうして中央公園広場が建設候補地になったのか？

A

- 平成25年6月から行われた「サッカースタジアム検討協議会」では、広島みなと公園、旧市民球場跡地、中央公園広場の3カ所は同等の高い評価を受けて最終候補となっていました。広島みなと公園あるいは旧市民球場跡地を積極的に推す意見が多く、平成26年12月にまとめられた提言においては、この2カ所が候補地とされました。
- その後、この2カ所について比較検討を行ってききましたが、それぞれ建設に向けての課題があり、候補地を絞り込むことが難しくなっていました。
- そこで、県・市・商工会議所・サンフレッチェ広島の4者で話し合った結果、検討協議会において、騒音対策等の課題はあるものの、この2カ所と同等の高い評価を受けていた中央公園広場を加えた3カ所で改めて検討し、最終的な判断をすることにしました。

Q

旧市民球場跡地に建設すればよいのではないのか？

A

- サッカースタジアムについては、広島みなと公園、旧市民球場跡地、中央公園広場の3つの候補地で検討を行っており、各候補地にそれぞれ課題があることを踏まえつつ、県民・市民にとってどこに建設することが最も望ましいかという観点で候補地の絞り込みを行っていきたいと考えています。
- 旧市民球場跡地については、ほぼ敷地一杯にスタジアムを配置することになるため、試合前後に観客が安全に移動するのに十分な広さの空間を確保することが難しいなどの課題があり、仮に商工会議所が移転したとしても、状況が大きく改善することはないと考えています。
- また、原爆ドーム周辺の景観保護のための高さ制限を守るためには、地面を掘り込んでスタジアムを整備することになり、約100億円の追加費用がかかります。

Q

エディオンスタジアム（広域公園陸上競技場）の改修ではダメなのか？

A

- エディオンスタジアムで今後もJリーグの試合を開催していくためには、観客席への屋根掛けなどが必要となりますが、これにはスタジアムを新設するのと同じくらいの費用（約140億円～170億円（平成7年の試算））がかかると見込まれます。
- また、仮に改修しても、陸上トラックが残り、多くのファンが望むサッカー専用のスタジアムとはならないことや、将来アストラムラインを延伸しても、短時間で多くの観客を運ぶことが難しい状況は変わらないといった交通アクセスの課題があり、まちの活力を創り出していく効果が十分期待できないため、エディオンスタジアムを候補地とすることは考えていません。

Q

中央公園広場にスタジアムができれば、生活に影響があるのではないのか？

A

《憩いの場や防災拠点としての役割について》

- 中央公園広場にスタジアムを建設する場合には、東寄りに配置することを想定しているため、西側の芝生広場は残ります（約4ha）。また、県営基町住宅跡地のオープンスペースとしての活用や将来的な中層住宅の建替えにより、芝生広場と一体的につながる広大な水と緑の空間を確保したいと考えています。
- これに加え、スタジアムそのものを、災害時の避難スペースや地域活動の場などとして活用することで、憩いの場や防災拠点としての役割を十分に果たせると考えています。

《観客の歩行ルートについて》

- 観客が基町住宅周辺の歩道や県立総合体育館横の地下道などを通行して、地域住民の通行を妨げることがないように、十分な幅員の歩道橋を新設するなど専用の歩行ルートを確認し、観客を適切に誘導したいと考えています。
- 観客にこうした歩行ルートの周知を徹底するとともに、必要な場所に警備員を配置するなど、十分な対策を行います。

《渋滞対策について》

- スタジアムに観客用の駐車場を整備しないことなどにより、公共交通機関での来場を促し、自動車での来場を抑制するほか、警備員の配置などにより、タクシーや送迎車の停車による混雑を防ぐなど、必要な対策を実施します。
- その上で、自動車で来場される場合には、紙屋町・八丁堀やその周辺に多数ある駐車場を利用されることを想定しています。

《試合開催による地域行事への影響について》

- 住民の皆様との情報交換を密にし、Jリーグの試合と地域行事などの日程ができるだけ重ならないよう調整します。
- やむを得ず、日程が重なる場合には、警備員を増やして安全対策を行うなど、適切に対応します。

《まとめ》

- 市街地の中にあるノエビアスタジアム神戸では、様々な対策を講じることで生活環境への影響は問題とはなっていません。
- どの候補地となっても、施設管理者と周辺住民の定期的な会合を設け、丁寧な対話を行います。

～参考（各候補地の比較）～

区分	広島みなと公園	旧市民球場跡地	中央公園広場
敷地面積	約10ヘクタール	約3.9ヘクタール	約7.9ヘクタール
概算事業費	約192億円	約260億円	約190億円程度